

第1章 人口ビジョンの趣旨

(1) 人口ビジョン策定の背景と目的

- ・我が国の総人口は、2008年の約1億2,800万人をピークに減少に転じ、このまま減少が続くと、2060年には約8,700万人になると予測されています(国立社会保障・人口問題研究所、以下「社人研」という)。こうした中、国は、将来にわたって活力ある「日本社会」を維持するために、人口の減少と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び、今後5か年の政府の施策の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました(2014年12月27日閣議決定)。
- ・国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」は、2060年に1億人程度の人口の確保を目指すもので、①「東京一極集中」の是正、②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、③地域の特性に即した地域課題の解決、の3つを基本視点としています。
- ・戸田市においては、現在も人口増加中ではありますが、将来の人口減少及び人口構造の変化に備えることが必要です。そこで、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の趣旨に鑑み、戸田市における人口動向や将来人口推計を分析し、目指すべき将来の方向性を踏まえた人口の将来展望をまとめた「戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る人口ビジョン」(以下「戸田市人口ビジョン」という。)を策定します。

(2) 戸田市人口ビジョンの位置づけ

- ・戸田市人口ビジョンは、市の最上位計画である「戸田市第4次総合振興計画」の考え方を前提とした上で、「戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けて効果的な施策を企画立案するための重要な基礎資料となるものです。
- ・なお、今後、戸田市第4次総合振興計画に基づく各種の行政計画の策定や、施策展開における参考として、活用していくものです。

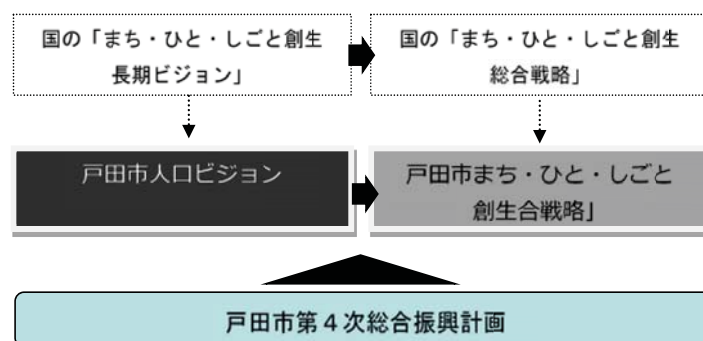


図1 戸田市人口ビジョンの位置づけ

(3) 戸田市人口ビジョンの対象期間

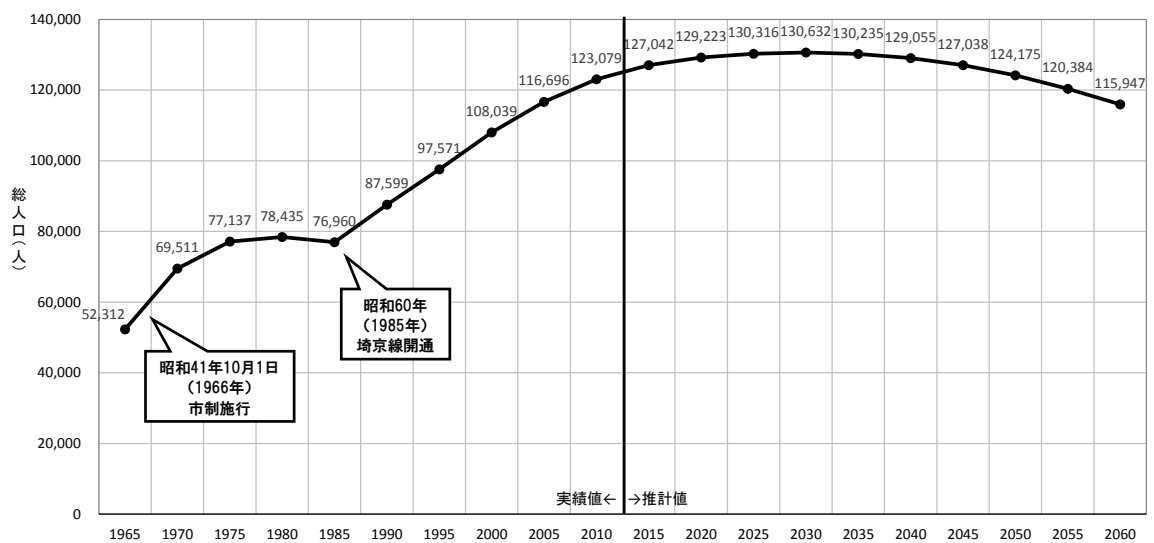
- ・戸田市人口ビジョンは、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を踏まえ、2060年までの45年間を対象とします。

第2章 人口の動向

1. 人口の推移

(1) 総人口の推移

○総人口は1966年の市制施行後に急増しましたが、1975年から1985年にかけて8万人弱で頭打ちとなっていました。しかし、1985年の埼京線開通を契機に現在も増加を続けており、2010年時点で12.3万人を突破しています。今後も、ペースは鈍るものの増加を続けることが見込まれており、国立社会保障・人口問題研究所推計によると、2030年前後に約13.1万人でピークを迎える見込まれています。



(出典)実績値:総務省「国勢調査」、推計値:国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

図 2 総人口の推移 (実績値、推計値)